定量法　本品約0.1ｇを0.001ｇの桁まで量り、その数値を記録し、0.01mol／Ｌ塩酸・メタノール試液を加えて溶かし、200mLの褐色全量フラスコに入れ、更に同試液を標線まで加えて200mLとする。この溶液２mLを全量ピペットを用いて量り、100mLの褐色全量フラスコに入れ、0.01mol／Ｌ塩酸・メタノール試液を標線まで加えて100mLとし、試料溶液とする。別に、クエン酸モランテル標準品約0.1ｇを0.001ｇの桁まで量り、その数値を記録し、試料溶液の調製と同様に操作し標準液とする。それぞれにつき、0.01mol／Ｌ塩酸・メタノール試液を対照液として、波長323nmにおける吸光度A_T及びA_Sを測定する。

クエン酸モランテル（$C_{12}H_{16}N_2S \cdot C_6H_8O_7 \cdot H_2O$）の量（mg）

$$= \text{クエン酸モランテル標準品の量（mg）} \times \frac{A_T}{A_S}$$

(ｲ)　保存の方法の基準

遮光した密閉容器に保存すること。

イ　製剤

(ｱ)　成分規格

本品は、クエン酸モランテル製造用原体に、賦形物質を混和した粉末又は粒子である。

含量　本品は、定量するとき、表示量の90～110％に相当するクエン酸モランテル（$C_{12}H_{16}N_2S \cdot C_6H_8O_7 \cdot H_2O$）を含む。

確認試験

①　本品の表示量に従い、クエン酸モランテル製造用原体0.1ｇを含む量を量り、水30mLを加え、５分間振り混ぜた後、遠心分離する。上澄液0.5mLにｐ－ジメチルアミノベンズアルデヒド・塩化第二鉄試液３mLを加えるとき、溶液は、赤紫色を呈する。

②　本品の表示量に従い、クエン酸モランテル製造用原体0.01ｇを含む量を量り、0.01mol／Ｌ塩酸・メタノール試液を加え、振り混ぜた後、ろ過する。ろ液につき、吸収スペクトルを測定するとき、波長322～327nmに吸収の極大を示す。

定量法　クエン酸モランテル（$C_{12}H_{16}N_2S \cdot C_6H_8O_7 \cdot H_2O$）約0.06ｇを含む量の本品を有効数字３桁まで量り、その数値を記録し、褐色の全量フラスコに入れ、0.01mol／Ｌ塩酸・メタノール試液150mLを加え、30分間振り混ぜた後、0.01mol／Ｌ塩酸・メタノール試液を加え、正確に250mLとし、遠心分離する。上澄液５mLを全量ピペットを用いて量り、褐色の共栓付きフラスコに入れ、内部標準液として２－ヒドロキシ－ｍ－トルイル酸0.12ｇ（0.115～0.124ｇ）に0.01mol／Ｌ塩酸・メタノール試液100mLを加えて溶かした溶液５mLを全量ピペットを用いて加え、試料溶液とする。別に、クエン酸モランテル標準品約0.06ｇを0.0001ｇの桁まで量り、その数値を記録し、0.01mol／Ｌ塩酸・メタノール試液を加えて溶かし、250mlの全量フラスコに入れ、更に0.01mol／Ｌ塩酸・メタノール試液を標線まで加えて250mLとする。この溶液５mLを全量ピペットを用いて量り、試料溶液の調製と同様に操作し、標準液とする。試料溶液及び標準液５μLにつき、次の条件で、液体クロマ